



## 普通科自主ゼミの「第一歩」

～サイエンスインターハイ～



### 1 サイエンスインターハイ

サイエンスインターハイは、崇城大学のナノ領域研究教育推進委員会が九州各地の高校生から自然科学に関する研究発表を募集し、研究活動の成果をポスターセッション形式で発表する研究発表会です。第10回目となった今年の大会は、7月28日(日)、九州各地と沖縄県から計26校、754名が参加し、そのうち国分高校からは3年理数科3名と生物班3名、2年普通科自主ゼミ班3名が参加しました。

### 2 普通科自主ゼミ班がコンペティション部門へ

事前の書類審査により、自主ゼミ班の研究「国分平野はほぼ占領?～シジミ類における外来種の勢力～」がコンペティション部門に選出されました。シジミ班は、地域の60カ所以上でシジミ採取を行うなど意欲的に研究を進めてきましたが、人前でのプレゼンや質疑応答は初めての経験で、大いに勉強になったようです。国分高校は、理数科生が全国大会や国際大会を舞台に大活躍していますが、**S S H指定2年目の今年、普通科生も躍進への第一歩を踏み出しました。これからさらに、学校全体に波及していくことを期待しています。**

なお、理数科サイエンス部生物班は、分野別最高賞である応用生命科学学科賞を受賞しました。



自主ゼミ・シジミ班のポスター発表



サイエンス部生物班 応用生命科学学科賞



## 舞鶴フィールド研修



7月22日(木)と7月23日(金)に、それぞれ理数科2年生、1年生が「舞鶴フィールド研修」に出かけました。S S H指定前から行われている理数科のフィールドワークです。

2年生は課題研究のテーマごとに鹿児島大学の研究室を訪問し、各分野の第一線で活躍する研究者から課題研究へのアドバイスをいただきました。1年生は鹿児島大学の木公彦先生の指導のもと、霧島の豊かな自然を満喫しながら、ジオパークに指定されている霧島の地層や地形について学びました。



鹿児島大学の研究室で学ぶ2年生